

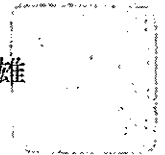


十 市 土 第 1 1 9 9 号

平成 2 0 年 1 0 月 2 0 日

国 土 交 通 省 道 路 局 長 殿

十和田市長 中 野 渡 春 雄



今後の道路行政についての意見・提案の提出について

平成20年 9月19日付け 国道企第37号で依頼のありました今後の道路行政
についての意見・提案について、別紙のとおり提出します。

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

青森県 十和田市

高規格幹線道路や地域高規格道路等の幹線道路ネットワークは、国土構造の骨格を形成し、地域の自立的な発展や地域間の交流連携を図るとともに、交通渋滞の緩和、物流・観光地域間交流を図ることと国土を有効に利用し適正に管理するために重要不可欠であります。そのため、特に当市のように高速交通網の未発達な地域においては事業評価による費用対効果だけでなく、地域の特性、交通網のバランスなども評価対象に加え、地方にも配慮しながら早期・確実な整備実現を要望いたします。

雪国の特性を踏まえ、冬期間の雪による暮らしの障害の克服や、地域間の交流・連携を支えるため、冬期歩行空間確保や豪雪・地吹雪などに対する除排雪の強化等の克雪対策の拡充を要望いたします。

橋梁などの道路施設の老朽化等にともない、安全性の機能維持が重要となり、今後ますます維持更新投資が増加し、基盤投資の環境が厳しくなることから、維持補修施策の拡充を要望いたします。

以上のことから、地方の道路整備状況等を踏まえ道路整備を計画的かつ着実に推進するため、道路特定財源についてはすべて道路整備に充てるよう強く要望いたします。

②－１ 地域の現状と抱える課題

青森県 十和田市

○現状

- ・ 本市の道路網は国道 4 号,45 号,102 号, 主要地方道三沢十和田線, 十和田三戸線の広域幹線に県道や幹線的市道が接続する構成である。広域幹線以外は線形・接続・幅員等の連続性が不十分であり、南北より東西方向の連絡が弱い。市街地の道路網は 1 辺 100m 四方のマス目を基本に構成されている。路線数が多いが道路利用者からみて、幅員・歩行環境の課題が残る。また、歩道のバリアフリー化について、中心市街地周辺はほぼ未着手の状況である。
- ・ 高速交通網のアクセスが国道のみのため、交通渋滞が発生し、高速道路インターチェンジまで 1 時間以上かかり、十和田八幡平地域への観光客も年々減少傾向にある。
- ・ 地域全体として、全国平均を上回る人口密度の低下と高齢化が進展している。
- ・ 橋梁などの道路施設の老朽化にともない、維持更新投資が増加している。
- ・ 強い経済をつくるため、雇用者の増加に対する助成や税制面での優遇措置を講じて積極的に企業誘致を展開しているが、高速交通網の未整備を理由に敬遠されている。

○課題

- ・ 車の通行量に対し、幅員不足の道路が多い。
- ・ 道路網配置において東西の連絡性能の強化が必要。
- ・ 歩道未設置, 片側設置または狭小な区間が多い。
- ・ 幅員 12m 以下では快適な歩行環境は困難であるため今後、中心市街地活性化事業との整合を図り、早期の歩道拡幅, バリアフリー化の推進が必要である。
- ・ 第三次救急医療施設への 60 分到達人口は夏期で約 70 %、冬期で 28 %である。(首都圏は 100%)
- ・ 生活道路と広域的交通路(高規格幹線道路等)の分離が必要である。(主要道路の立体交差化の推進等)
- ・ 効率的な行政サービスや高度医療などの機能維持が将来的に困難になる。
- ・ 今後、ますます道路整備(基盤整備)の環境が厳しくなる。
- ・ 高速交通網の整備が急務である。

②－２ 地域の目指すべき将来像

青森県 十和田市

十和田市は豊かな観光資源や農林資源に恵まれているが、高速交通網の整備が遅れています。東北縦貫自動車道八戸線からの高速交通網の整備により、三八圏との医療圏の拡大、物流・観光地域間交流など社会経済活動が活性化いたします。また、災害時の広域ネットワーク機能の強化・救急医療体制の構築などが図られます。

アクセスの向上で、より多くの観光地を周遊することが可能になり、北東北地域をイメージさせる十和田八幡平地域への集客及び「シャワー効果」により、十和田市のみならず、全県的な観光関連事業・企業誘致など各種事業が活性化いたします。また、生活道路と広域的交通路（高規格幹線道路等）の分離により、生活道路の安全を図るとともに特産品の首都圏への効率的な輸送が実現し、社会経済活動が広域化いたします。これにより、企業誘致等が推進され、産業の振興・雇用の場が確保されることにより強い経済がつくられ、教育や福祉等の充実も図られます。

様式 ④

青森県 十和田市

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
・地域活力の向上	高規格幹線道路及び地域高規格道路等の自動車専用ネットワークの構築	高次医療や多様化する消費・余暇活動などにともなう高度な都市型サービスの広域利用が可能。アクセスの向上により全県的な観光関連事業・企業誘致などの各種事業が活性化される。生活道路の安全を図るとともに慢性的な交通渋滞が解消され、災害時の広域ネットワーク機能の強化・救急医療体制の構築が図られる。	
・少子・高齢化社会に対応した子育て環境、バリアフリー社会の形成	歩行空間のバリアフリー化の推進	高齢化、児童、園児、身体障害者等が安全・安心で快適な歩行空間が確保される。事故などによるけが等を地域団体・住民など多くの人々との協働で予防し、安全・安心に暮らせるまちづくりが推進する。 (セーフコミュニティの WHO 認証取得)	